



標高差 0m～1,400mのまち

愛媛県西予市

四国の西南部に位置する西予市の特徴は、海拔0m～1,400mの標高差を舞台とした自然環境。地形・地質の多様性に恵まれ、柑橘をはじめ魚介類・果実・乳製品・肉類など多くの特産品があります。また、豊かな自然と人々の生活文化や歴史が評価され市内全域が「四国西予ジオパーク」として認定されました。ゆったりと流れる癒しの時間と、人々の温もりがここにはあります。



西予市公式 LINE

イベントや防災など西予の情報をお届け。お友達登録をお願いします。



ふるさと納税サイトにアクセス！
応援よろしくお願ひします



日本初の産科女医 楠本イネを育んだ町

第11回 愛媛県西予市 おイネ賞事業

令和5年 12月9日(土) 愛媛県歴史文化博物館 多目的ホール 13:30～

主催／西予市・(一社)愛媛県医師会
後援／(公社)日本医師会・愛媛大学医学部・(一社)西予市医師会

第1部 第11回 西予市おイネ賞事業表彰式

1. 開会
2. 主催者あいさつ
3. 来賓紹介
4. 西予市おイネ賞受賞者発表
5. 審査機関紹介及び審査総評
6. 表彰状贈呈
7. 受賞者あいさつ
8. 閉会

第2部 講演会 「共に生きる力とワーク・ライフ・バランス」

講師 吉田 穂波氏

(神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授)

主催者あいさつ



西予市長
菅家 一夫

第11回西予市お伊ネ賞事業の開催にあたりご挨拶申し上げます。
平成24年度から始まりましたお伊ネ賞事業は、シーボルトの娘、楠本イネの偉業を継承し、その志を受け継ぐ全国の女性医師・医学生を奨励するものとして今年度で第11回を迎えました。
主催・後援としてご協力、ご支援いただきました関係機関をはじめ、多くの皆様にご参加いただき、開催できますことを心から厚くお礼申し上げます。
今年は、少子化対策強化元年として、子育て支援の充実や環境づくりに取り組んでおります。この取組は、お伊ネの生き方と重ねるべく、すべての世代の方々が活躍でき、幸福を感じて暮らすための地域づくりにつながるものと考えております。
本事業が、お伊ネ賞を受賞された方々を称えとともに、多くの皆様が健康でいきいきと輝いて、一步一步前を向いて進んでいくきっかけづくりになりますようお願いしております。



一般社団法人
愛媛県医師会
会長
村上 博

西予市宇和町卯之町は愛媛県でも最も文化的に成熟した町のひとつです。幕末維新の回天の牽引に数多くの蘭学者が大きな役割を果たしています。シーボルトの娘楠本イネは、卯之町の二宮敬作のもとで医学研修を行い偉大な足跡を残しました。
しかし、父親の寵愛を受けることなく育ったところに大きな運命を感じます。人間は運命に翻弄されることもあるし、一方では自分の強い意志で運命を切り拓きもできる。お伊ネさんは、そう語っているように思います。
「お伊ネ賞」は西予市が女性医師の活躍を顕彰する事業です。さまざまな困難を乗り越えて地域医療や医学の発展に貢献をされている女性医師の活躍に光をあてています。社会が広く女性医師を受け入れ、現代のテーマでもあるワークライフバランスのモデルとして、この「西予市お伊ネ賞事業」を位置付けています。

講演会

「共に生きる力とワーク・ライフ・バランス」

講師 吉田 穂波氏

(神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授)



三重大学医学部医学科卒業。聖路加国際病院にて産婦人科研修後、ドイツ・イギリスでの臨床経験を経てハーバード公衆衛生大学院留学。帰国直後に発生した東日本大震災で産婦人科医として被災地の妊産婦や新生児の救護に携わった後、国立保健医療科学院、神奈川県をはじめとした官公庁や多数の自治体で母子保健領域の公共政策提案に携わり、2019年より現職。
この間、内閣府少子化社会対策大綱検討委員、厚生労働省医政局医道審議会専門委員、厚生労働省新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部事務局参与を歴任。4歳から18歳まで6児の母。
著書 『「時間がない」から、なんでもできる!』(サンマーク出版)
『ママドクターからの幸せカルテ—子育てでも仕事も楽しむために』(西村書店)
『「つらいのに頼れない」が消える本—受援力を身につける』(株式会社あさ出版)
『「頼る」スキルの磨き方』(KADOKAWA)ほか多数。

講師プロフィール

西予市お伊ネ賞事業



「読書をするイネ」
大洲市立博物館所蔵

趣旨

シーボルトの娘で日本初の産科女医「楠本イネ」を育んだまちとして、医学研究や医療活動に躍進する女性を表彰し、奨励することで西予市の全国発信とともにお伊ネのまちづくりで地域の活性化を図る。

目的

- ・女性医師を奨励し、社会における女性活躍躍進へつなげる
- ・活躍が期待できる地域における女性医師を奨励する
- ・これから芽が出ようとする地域における女子医学生を奨励する

第11回西予市お伊ネ賞受賞者

経歴



全国奨励賞

琉球大学病院

銘苺 桂子氏

琉球大学医学部医学科卒業、同大学の産婦人科教室へ入局。沖縄県内の女性医師の就労環境改善のための啓発活動、医師の働き方改革の推進において成果をあげている。
不妊治療や腹腔鏡手術・ロボット支援手術を専門とし、小児・若年がん患者の妊孕性温存療法を沖縄県内で完結できるよう、がん治療病院とのネットワークの構築に尽力。
コロナ禍においては、感染した妊婦の迅速な対応を可能とするため、クラウドデータベースを開発、沖縄県内における周産期連携の強化に努めた。
女性医師の活躍推進のための環境整備に向けて多方面に働きかけを行い、診療・教育・研究において活躍している。

経歴



地域奨励賞

愛媛大学大学院医学系研究科
児童精神医学講座

堀内 史枝氏

愛媛大学医学部卒業、雄岡病院、愛媛大学附属病院を経て、2023年4月から同大学大学院医学系研究科教授。
愛媛大学医学部附属病院精神科の児童青年期専門外来開設や子どものこころセンターの設立に携わる。子どもの精神科領域に20年以上携わり、医療、教育、福祉機関との連携やネットワークを生かし、子どもの成長をライフスパンで考え、サポートする体制と家族が安心して過ごせる社会環境づくりに貢献できるよう尽力している。
同大学医学部医師会の女性医師部会役員として、女性が働きやすい職場づくりに積極的に携わっている。

経歴



医学生奨励賞

愛媛大学
医学部5年

村上 静郁氏

現在、臨床実習などの勉学に励んでいる。学業では常にトップクラスの成績を修め、病理学分野において、特に秀でている。医師として長く医療に携わることを目標に、常に学び考え、患者さんとの信頼関係を築ける医師をめざしている。部活動として、ゴルフ部に所属し、他の医学生との協調性も兼ね備えている。
愛媛の医療を担う女性医師の1人として将来の活躍が期待される。